

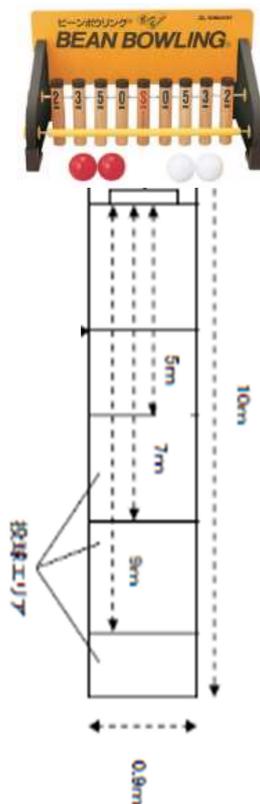
ビーンボウリング

1 特徴

ピンの配列を工夫し簡便化したもので、ピンにボールが当たると豆がはじけるように反転したり自動的に戻るようになっています。

2 道具

0.91m×10mのレーンの取れる平らなところで使用



3 遊び方 (1対1・2対2・5対5の団体戦も)

- ① [先攻] 赤2個のボールを持ち、ピンに向かって1球目を転がす。当たって反転したピンはそのままの状態でも2球目を投げる。反転しているピンにある数字を数え、その合計が得点!
- ② [後攻] 白ボールを同様に投げ、フレーを進めていく。
 ※反転後にリバウンドし、元に戻ったピンは得点として加算されない。(ガター)
 ※投球ラインからピンまでの距離は、5m・7m・9mでこの3つの投球ラインから3フレームずつ(計9フレーム)投げて1回のゲームとなる。

3 得点

スコアカードの使い方・事例とスコアカード

ビーンボウリング		5m			7m			9m			合計
投球距離		1	2	3	1	2	3	1	2	3	
使用ボール[赤色] チーム名	1投目	2	3	5	5	8	5				98
	2投目	3	2	5	0	0	0				
	合計	5	22	13	10	15	0	8	20	5	

ストライク…20点 スペア…10点

ファール

★1投目で反転したピンはそのまま残り、2投目を投げる。

★中央“S”ピン…ストライクピン

⇒1投目で反転したら20点(ストライク)

2投目で反転したら10点(スペア)

★1フレームずつの得点を合計して競い合うところが一般のボウリングと違うところ。